

2016~2017年度

ROTARY INTERNATIONAL

第2770地区 大宮東ロータリークラブ 週報



『楽しいロータリークラブ・やりがいのあるロータリー活動』

RIテーマ
人類に奉仕する
ロータリー

米山・経済と地域
社会の発展月間

例会日	毎週水曜日	事務局	さいたま市見沼区東大宮 5-50-9-B-2	会長	河本 博
時間	12:30~13:30	TEL	048-6885-0145	幹事	小林 聡
例会場	武蔵野銀行 東大宮支店	FAX	048-6887-3495	クラブ強化	
創立	1978年10月28日	Eメール	omiya.e.rc@nifty.com	常任委員長	三枝和男
		http://www.omiyaeast-rc.jp/		広報委員長	岡田悦行

点鐘 河本 博会長 ソング 君が代・奉仕の理想
ビジター&ゲスト

- ◆栗原偉憲様(国際ロータリー第2770地区 米山記念奨学部門委員長・杉戸ロータリークラブ)
- ◆スワフルディベンドラ様(国際ロータリー第2770地区 米山記念奨学生・埼玉大学 ネパール)

会長挨拶 河本 博 会長



皆さん、今日は。お客様ようこそいらっしゃいました。後程、卓話をいただきますので宜しくお願い致します。今年も早や10月となりました。昔はひんやりとした青空の下、運動会、遠足などで10月は秋の主役でした。10月1日には洋服も夏物から秋・冬物に代わり、街では赤い羽根の共同募金が始まるなど、それぞれの月に季節感があったと思いますが、昨今は温暖化、生活様式の変化により、季節を意識することが薄れてきたように思います。とは言え、今朝のニュースでは北海道の旭川では初霜が、上川では氷点下になったことが伝えられ、季節は確実に夏から秋へ、早いところでは冬へと進んでいます。ここ東大宮は1日ごとに5度の気温差が生じておりますので、皆様も油断せずに御身体に御留意下さい。さて、10月は米山月間です。そこで10月の最初の例会では、米山記念奨学部門委員長・栗原偉憲様、米山記念奨学生・スワフルディベンドラ様をお招きし、栗原委員長には米山記念奨学金について、スワフルディベンドラ様にはネパールの紹介、日本で感じたこと、米山記念奨学生になって等についてお話を頂くことにしました。ところでネパールはなかなか訪れる事のない高地の国ですが、私たちが唯一接点があるとすると、「書き損じハガキを回収し、さいたまユニスコを通じて毎年、学校を寄贈していることかと思ひます。卓話、宜しくお願い致します。本日はこのあと結婚記念・入会記念、誕生祝を執り行います。それぞれの記念日に思いを寄せ、次の記念日をお元気で迎えられることをご祈念し、本日の会長挨拶と致します。本日もよろしくお願い致します。

幹事報告 小林 聡 幹事



1. 第4回理事役員会報告①10月28日創立記念例会について承認②11月のプログラム承認③10月19日例会にて地区補助金事業の贈呈式を行うことが承認④次年度地区役員として三枝和男・高橋洋文副幹事の承認⑤10月21日職業奉仕セミナーに会長、幹事、副幹事の出席・登録料支出承認。11月26日ロータリアンとIA顧問教師懇談の集いに大西委員長の出席・登録料支出承認⑥ロータリー地区代表として河本幹事となります。
- ⑦NPO法人国際ロータリー日本青少年交換委員会を多地区合同奉仕活動として承認するよう要請がございましたので承認することとしました。
2. 事務局の掃除機が不具合でしたが金子登会員から贈呈して頂きました。有難うございます。
3. 次週、清水良朗様の卓話のテーマが「100年企業のアピロソフィー」変更になりました。

表彰



財団年次寄付額優秀クラブ賞 第2位(井原賞年度)が中内直前会長に授与されました。皆様のご協力ありがとうございました。

おめでとう
ございます

10月の誕生祝・結婚祝・入会祝



- ☆☆誕生祝☆☆
- 吉野 啓会員 18日 田村琢美会員 15日
 - 渡辺正司会員 8日 安齋 純会員 27日
 - 横田聡美会員 7日 柳田一雄会員 28日
 - 金子善美会員 8日 三枝和男会員 30日
 - 高橋洋文会員 12日
- ☆☆結婚祝☆☆
- 安齋 純会員 7日
 - 志江誠一会員 9日
 - 高田照久会員 21日

出席報告 田中秋弘委員長

月日	総員	出席	猶予	欠席	MU	%
10/5	46	28	8	18	0	65.12
前回	46	27	8	10	9	81.82

スマイルBOX報告 東条和彦委員長

◎栗原様、スワフルディベンドラ様ようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお聞き致します。
*栗原偉憲様
*高田照久会員・堀江誠一会員・三枝和男副会長
*片柳高会員・河本博会長・渡辺正司会員
*小林聡幹事
*大西清和会員・岡田悦行会員・風間昭会員・金子登会員・金子泰夫会員・河野直行会員・小峰敬右会員・茂田良良会員・志村広会員・鈴木八郎会長・エレクト・高橋洋文副幹事・楠基之会員・田中秋弘会員・千代邦夫会員・東条和彦会員・堀口勝三会員・山田雅明会員・山田康博会員
*役員会懇談会致金
ご協力ありがとうございました。
30件53, 174円合計503, 739円

卓話 栗原偉憲様

皆さんこんにちは。今年度米山記念奨学部門委員長をさせて頂いておりましたが、杉戸ロータリークラブ所属の栗原偉憲(くりはらたけのり)と申します。どうぞよろしくお願い致します。本日は、7月の早稲刈りから三枝さんよりご依頼を受けました。淡水がバナーのクラブが世話クラブである、越谷南ロータリーのネパール出身スワフルディベンドラ君に同行しに来ました。貴重なお時間宜しくお願い致します。入会3年未満の会員が多いということで、まずは「米山ってなんだ？」というところからお話をさせて頂きます。私自身、今ここにいるのは、越谷南バスターの依頼があって初めて知った次第です。米山記念奨学会とは、全国のロータリアンの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。日本34地区合同で行い先般RIにも認められている事業です。組織回は互辞典の最後に記してあります。この互辞典を読んだだけでは、米山に関しては何となくぼんやりとしか見えない。米山記念奨学事業の成り立ちですが、「日本のロータリーの父」と言われています。故・米山梅吉氏(東京RC創設者)の功徳・偉業を称え(記念して)、米山氏の晩後、1952年、東京RCが「海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業の構想」を立案し、当初はクラブ奨学事業としてスタート。その後、全国のロータリークラブに支持され、日本全地区の共同事業へと発展しました。世界平和を築けるには「人と人との交流」が一番大切であるという信念から成り立っています。米山梅吉翁自身、20歳から8年間アメリカにスクールボーイ制度を利用して留学していました。その時の経験、又日本

は不運にも、1939年から1945年まで第二次世界大戦に突入しました。その間、国際ロータリーから脱会させられ「水曜会」として存続し、戦後復帰しましたが、米山翁自身戦後すぐに、亡くなってしまったのですが、この戦争に対しアジア近隣諸国に日本を支援してくれたる国がなかったからこのような戦争になってしまったと嘆いていたそうです。そんな思いを米山翁晩年に東京ロータリークラブの皆さんが継ぎ1952年に設立されたということです。1957年には文部省の認可を得て「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が設立されました。現在普通寄付金と特別寄付金がありまして、この地区では普通寄付金は5,000円と決められています。皆さんが入会しただけで、そのお金は奨学会に寄付していただいている状態です。その他の特別寄付金を合わせて一人25,000円以上ということを皆様にお願ひしております。何故普通寄付金と云うものがあるのか?は、1957年に財団法人設立の際に、国から安定した財源がないと設立は出来ないということでそのような経緯になっています。奨学会は米山記念奨学事業を維持している組織です。役員は、全国のバスター・バナーにより構成されています。この奨学システムの特徴としては、日本にある全県の奨学事業を合わせて一番大きな組織であり、また奨学金の返還義務がなくて、44歳まで奨学金受給資格があります。今年は31名スワフル君を含めた奨学生がおります。20歳から32歳までの学生で平均年齢26歳です。私たちは地区として、何月目的かと申せば、あくまでもクラブ支援、クラブ活性化するためのお手伝いです。現在当地区73クラブあり、奨学生を希望しているクラブは53クラブあります。しかし前年度のような寄付が出来てくればいつか2クラブに1名の奨学生が来れるかもしれません。皆様の貴重な財源を頂き、クラブ活性化のためにも今後ともご協力をお願い致します。

卓話 スワフルディベンドラ様



私は2046年12月17日(西暦1990年・ネパールのカレンダーは57年先で4月始まり)生まれました。趣味はサッカーとクリケット、料理です。2013年4月5日に未日しました。埼玉大学の修士1年生です。世話クラブは越谷南ロータリークラブ、カウンセラーは神谷治善さんです。専攻は環境システム工学系で環境制御システムコースで環境に関する、環境保全、資源環境学、測定方法、汚染環境、社会環境問題など存在している環境問題に対して効果的な対策成果等の研究を行っています。指導の先生の研究室では特に水生昆虫と水質に関する研究を行っています。ネパールは面積147,181km²、人口は約2780万人、首都はカトマンズで海拔は1,400m、公用言語はネパール語ですが多言語で多文化の社会です。民族衣装も多様です。食文化はインドや中国の影響を受けています。ご飯、カレー、スープ、生野菜などです。右手で食べます。ラーメンや餃子のようなものもあります。特別な料理ではディート・シヌスというトウモロコシ粉と小麦粉を使ったものです。赤飯はヒンドゥ教が多く、ついで仏教です。ヒンドゥ教では牛は神聖なものと考えられることは禁止されています。日本を留学先に選んだのは先進国の中でネパールと同じアジア圏で人の縁やコメを中心とした食文化など共通するところもあるため親近感があり、季節もネパールに似ているのでいちばん住みやすいと感じました。2013年に未日して与野学園で2年間日本語を勉強して埼玉大学に入りました。留学生活が一番良いことは異文化体験でした。日本はもちろん、留学中のベトナム、タイ、中国等の色々な国籍の人々に出会って母国と違う文化も知る事が出来ました。将来の目標は日本で学んだ専門知識や経験を活かして母国の環境保全または自然資源の活用等様々な研究に参加して日本に興味を持っていく人々に日本文化と日本語を教えたいと考えています。奨学生になってから生活スタイルはかなり変わりました。頂ける奨学金は経済的なサポートになり、アルバイトの時間の短縮が出来ました。忙しい生活の中で時間の余裕ができました。その結果、学業やアルバイトの心配が少なくなり、多くの学習時間が有り、勉強に集中できる環境が作れました。日本人との交流活動の機会も増えました。奨学生としてロータリアンの家族の一員になり、いろいろな活動に参加でき、日本人と日本社会に多く出会う機会を得ました。色々な国籍の他の奨学生達とも付き合うことができ、国際的な関係も作れました。奨学生になったことがきっかけでネットワークが広がっているように感じます。皆様も様々な職業に関わっているロータリアン達と各国の奨学生との出会いが自分の視野を広げました。日本語と日本文化の勉強にもなりました。奨学生になってからも9ヶ月がたちました。奨学生になったおかげで色々なことにも勉強とともにもいい経験になりました。奨学金は支援になってもの感謝です。でも日本の社会に近づき機会が繋がることでとても感謝します。ロータリアンの皆様の優しき、支援、応援すべての事を忘れずにこの先目指した目標まで頑張っていきたいと思ひます。これからもご協力宜しくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。